



## 世界初、リージョナルジェット機エンジンの洗浄方法として泡洗浄を導入

～環境負荷低減のための取り組みを促進していきます～

2022年1月27日

第 21106 号

日本航空株式会社(以下、「JAL」)は、GEの航空事業部門であるGEアビエーションと契約し、大阪国際空港(伊丹)を拠点とする株式会社ジェイエア(以下、「J-AIR」)が運航するエンブラエル170型機に搭載されるCF34型エンジンを対象に、日本の航空会社として初めてとなる泡を用いた洗浄方法「GE360フォームウォッシュ(以下、「泡洗浄」)」を導入します。泡洗浄はCF34型エンジンに対しては世界初の導入になるとともに、リージョナルジェット機に対しても世界初の導入となります。



JALではCO<sub>2</sub>排出量の削減のために、定期的に航空機エンジンを洗浄して燃費の改善を図っています。通常は水を使用した洗浄(水洗浄)を行っていますが、今回新たに取り入れる泡洗浄では加熱した特殊な泡状の洗浄剤をエンジン内部に注入することで、飛行中に吸い込んだちりやほこりの粒子を化学的に除去することが可能となります。泡洗浄の導入により、燃料を追加で年間最大約82,000リットル削減でき、これはCO<sub>2</sub>排出量約285トンに相当します。また、泡を使用した洗浄方法であるため、従来の水洗浄よりも水の使用量を削減することが可能となります。

JALは、2021-2025年度JALグループ中期経営計画(\*1)を策定し、政府が掲げる「2050年カーボンニュートラル」の達成に向けて、安全を確保した上での降下中の浅いフラップの利用などの飛行中の空気抵抗を削減する取り組みや地上移動時の片側エンジン停止などと併せて、エンジン洗浄でもCO<sub>2</sub>排出量の削減を行っています。今回の泡洗浄の導入でさらなる燃費向上によるCO<sub>2</sub>排出量の削減を目指します。

JALは、豊かな地球を次世代に引き継ぐ責務を果たすため、これからも地球環境の課題解決に挑戦してまいります。

(\*1) 2021年5月7日付プレスリリース 第21012号『2021-2025年度JALグループ中期経営計画を策定』

<https://press.jal.co.jp/ja/release/202105/006065.html>

以上

